

鯖江市議会報

第232号

令和2年2月25日発行

撮影場所：丹南高校

写真提供：福井県立丹南高等学校
大平 遥加 さん

■ 議員とかたる会を開催します！	3
■ 決算特別委員会 総括審査の内容	4
■ 代表質問、一般質問	9
■ 表紙写真の選考について	16





アンワルル K.チャウドリー国連大使が 議場にてスピーチを行いました。

12月5日、国連においての「持続可能な開発目標(SDGs)」を推進し、女性問題の第一人者であるアンワルル K.チャウドリー国連永久大使が市議会議場に登壇し、議員や理事者約50人を前に演説を行いました。

大使は、「女性のエンパワーメントと平等は、良い社会づくりと良い国や個人の形成に欠かせない。SDGsは、ローカルレベルの参画がなければ達成できない。全ての人がSDGsの恩恵を受けるには、市長や市議会議員といった地方自治体における皆様の協力が必要だ。」と強調しました。



議 会 日 誌 (令和元年11月～令和2年2月) ※主なものを掲載しています。

11月18日(月) 決算特別委員会総括審査	1月20日(月) 議会運営委員会
11月20日(水) 議会運営委員会・全員協議会	1月27日(月) 越前市議会との行政懇談会
11月25日(月) 議会報告会運営委員会	1月30日(木) 議会報告会運営委員会
12月17日(火) 総合交通ネットワーク構築・まちづくり推進特別委員会	2月 6日(木) 公立丹南病院組合議会
議会等改革推進特別委員会	2月 7日(金) 鯖江広域衛生施設組合議会
議会報告会運営委員会	2月10日(月) 議会運営委員会、全員協議会
12月20日(金) 議会運営委員会	2月13日(木) 鯖江・丹生消防組合議会
12月23日(月) 鯖江・丹生消防組合議会臨時会	議会報告会運営委員会
1月14日(火) 議会等改革推進特別委員会	2月14日(金) 福井県丹南広域組合議会
1月15日(水) 議会報告会運営委員会	公共施設管理等研究委員会

総合交通ネットワーク構築・まちづくり推進委員会

総合交通ネットワーク構築・まちづくり推進特別委員会は、令和元年9月定例会において、これからの鯖江市にふさわしいまちづくりの方向性を前提に、総合的な交通ネットワーク構築の推進を目的として設置されました。「北陸新幹線・在来線・福井鉄道・コミュニティバスなどの公共交通問題全般について」、「道路交通網整備について」、および「まちづくり施策全般」を所管事項とし、委員8名で構成されています。

現在、北陸新幹線 金沢・敦賀間の開業に向けて整備が行われていますが、新幹線が整備されると、この区間はJRから経営分離されて並行在来線会社（第3セクター）の運営となるため、その準備が進められています。これに伴い、当委員会では、市民の交通利便性の確保や並行在来線（※）の利便性などについて研究しているところですが、先進的な施策に取り組む自治体や事例を学ぶために、1月16日、17日に行政視察研修を行いました。



高岡やぶなみ駅 視察の様子

【視察先および研修内容】

◎ 富山県高岡市

並行在来線の新駅「高岡やぶなみ駅」の整備について

- ・ 施設整備の概要や設置の経緯
- ・ 利用活性化への取組や今後の課題など

◎ あいの風とやま鉄道株式会社（富山市）

並行在来線「あいの風とやま鉄道」の運営状況等について

- ・ 開業以来、これまでの利用活性化への取組
- ・ 今後の課題など

「市民に開かれた議会」を目指して！

議員とかたる会を開催します。

～議員と話そう あんなコトこんなコト～

開かれた議会を目指し、市民の皆様には議会の活動状況について知っていただくとともに、貴重なご意見などをお聞かせいただくため、議員とかたる会を開催いたします。当日は、ご参加いただいた方との座談会を予定しております。



対象 区域	1回目	2回目	3回目
	中央中学校区	鯖江中学校区	東陽中学校区
日程	3月25日(水) 19時30分から	3月30日(月) 19時30分から	4月8日(水) 19時30分から
会場	神明公民館 3階 大ホール	嚮陽会館 多目的ホール ※手話通訳サポートあり	河和田公民館 3階 大ホール

ぜひお越しください！



総務分科会

持続可能な行政運営は？

少子高齢化や人口減少社会による歳入減退への対策は。
持続可能な行政運営への展開は。

市長：市税全体の歳入は今後5年間で2.3%の増加を見込んでおり、歳出については事業の見直し、人件費の抑制、経常経費の見直しなどにより削減を図っていく。そして、SDGsを着実に推進し、女性活躍、経済社会、環境の好循環と相乗効果により持続可能な自治体運営に取り組んでいく。

防災マニュアル等の見直しは？

近年の想定以上の自然災害により、防災マニュアル等の精査、見直しが必要ではないか。

市長：国が千年に一度の水害確率による浸水想定区域図を作成したことを受け、福井県と同様に令和2年夏をめぐりに水害リスク図を作成したい。そして、国県市それぞれの水害リスク図を重ね合わせ、本市全域における詳細な浸水ハザードマップを令和2年度に作成していく。



産業建設分科会

大学連携の今後の方向性は？

大学連携の成果は。その目指すところは。
今後も連携を増やしていくのか。

市長：関係人口の増加、産業観光の振興、新商品の開発等着実に成果が上がっており、地域経済の活性化を目指していく。今後も連携を増やし、大学の知財を生かして、地域産業の発展を図りたい。

消雪パイプの積極的な設置は？

大雪時でも集落内へ緊急車両が乗り入れられるよう、消雪パイプの設置を積極的に進めるべきではないか。

市長：今年度は、昨年度の倍以上の予算をもって、積極的な整備に取り組んでいる。地元の要望にできるだけ応えていくが、地元の水源、電気代負担の問題もあるので、機械除雪とのバランスを考えた上で対応したい。



教育民生分科会

行政独自の福祉政策は？

市独自の施策に重点を当てた予算配分を行うべきではないか。地域支え合い推進員配置の見直しは。

市長：職員みずからが市民に真に必要なとされる施策を開き、国県の補助事業を探し、ない場合は市独自の予算配分に努めている。地域支え合い推進員は、介護保険制度を活用し、地域まちづくりの拠点である公民館に配置した。市としても、活動しやすい環境づくりを支援する。

教育費の配分は？

現場が柔軟に執行できるような予算項目を設定すべきではないか。不用額については。

市長：今、学校経営ビジョンを策定し、重点課題や取組内容を確認している。各学校の要望ヒアリングを行い、特色ある環境整備に努めている。不用額については、職員の休暇、退職による代替要員の確保に不測の時間を要したが、状況を早めに把握し、要員確保に努めたい。



第422回 12月定例会ではこんなことが審議されました

11月27日から12月20日までの24日間にわたり第422回定例会が開催され、15件の議案を可決、2件の人事案件に同意しました。9月定例会にて継続審査となっていた平成30年度各会計の決算認定に係る8議案については、本会議初日の11月27日にて認定となりました。

主な議案審査

一般会計補正予算(2億2,080万円)

可決

- ・令和2年4月使用料改定に対応する各施設へのPOS(ポス)レジ導入経費(423万3千円)
- ・児童扶養手当の制度改正による年度前倒し支給(6,000万円)
- ・ハザードマップの作成に向け、準用河川の測量・水害リスクの解析経費(1,000万円)

債務負担行為補正

- ・健康診査等事業
- ・ごみ収集等業務
- ・東京オリンピック(体操)事前合宿受け入れ準備
- ・指定管理者の更新等



公共施設の使用料改定に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正

可決

- ・夢みらい館・さばえの女性活躍拠点施設整備工事に伴い、ミーティング室が撤去されることによる改正
- ・公共施設の分割使用に係る規定を設けるための改正

鯖江市認定こども園設置および管理に関する条例等の一部改正

可決

- ・しんとくこども園の設置ならびに早稲田保育所および進徳幼稚園の廃止に伴う改正

鯖江市農林業体験実習館設置および管理に関する条例の一部改正

可決

人事案件

同意

- ・教育委員会委員の任命について(笹本憲子氏)
- ・公平委員会の選任について(寺崎秀徳氏)

請願の採択

※審査の内容については、次ページから(6ページから8ページ)の各委員会審査にて掲載しております。

請願	件名	請願者	採決結果	付託委員会
第3号	国に対し「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願	福井県農民連 会長 玉村 正夫	不採択	総務 (6ページ)
第4号	生活保護基準引き下げ中止を求める請願	南越生活と健康を守る会 佐野 敏弥	不採択	教育民生 (8ページ)
第5号	老朽原発稼働に関する請願	高嶋 茜	継続審査	総務 (6ページ)
第6号	不正資金還流の真相究明を求める請願	高嶋 茜	趣旨採択	産業建設 (7ページ)

総務委員会の審査内容

マイナンバーカード普及のためには？

問] 取得率は。

答] 12月1日現在、鯖江市の取得率は9.66%で県内9市のうちで7番目。福井県全体で約10%。全国では約14%。

問] 今後の取得率向上のための対策は。

答] 11月までに、市民の勤務先等で8回の出張受付を行い、125人の申請があった。

1月からの各地区公民館での税申告受付に合わせ出張受付を考えており、その際、本人の写真撮影については、職員がタブレット端末を利用して撮影サービスを行う予定。

また、現在、土日の交付を月3回行っており、12月からは毎週火曜日に午後7時半まで受付時間を延長して対応している。

今後も取得率向上の促進を図っていききたい。



マイナンバーカード見本

POS(ポス)レジの安全性は？ (施設の使用料収納のためのレジ機器)

説明] 施設使用料の改定に伴い、利用区分が時間単位となること、空調費の計算、減免制度の見直しにより、料金計算が複雑化することから、事務の負担軽減や使用料支払い手続きの利便性向上を図るため、レジ機能を有する機器を導入することとした。

問] データ管理も行うとのことだが、その安全性は確保されているのか。

答] レジ使用のユーザー権限の設定により安全管理が図られ、不正防止にもなると考えている。また、個人情報については、個人が特定できる情報が収集されるものではない。

請願の審査内容

・国に対し「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願

多数意見] すでに10月から消費税が増税され、その財源を社会保障や借金返済に充て、幼児教育無償化を行っている状況において、5%へ引き下げるべきではない。

採決

不採択

・老朽原発稼働に関する請願

意見] 原子力規制委員会が20年の延長運転を認可したが、やはり40年を経過した原子力発電所を稼働させることには反対。

意見] 原子力発電を少しずつ減らして、最終的には無くしていくことが理想だとは思いますが、今の時点では厳しい状況であろう。

意見] 今回、結論を急ぐべきではなく、状況の把握や専門的知識の習得などを行い、継続的に審査すべき。

採決

継続審査

産業建設委員会の審査内容

農林業センサスの活用方法は？

説明 国が、5年ぶりに全国一斉の農林業センサスの調査を行う。国の報酬単価の見直しにより、調査に従事する指導員、調査員の報酬を増額する。

問 調査結果はどのように活用されるのか。

答 農林水産業の生産構造、就業構造等の実態を総合的に把握することで、今後の農林水産行政の企画立案の指標として活用されるほか、地方交付税の算定の基礎資料として活用される。

道路台帳の電子化、市民サービスへの影響は？

説明 市道管理のための道路台帳図面は、現在、印刷された大判図面で管理している。これをデジタル化し、数年をかけてパソコン上で編集可能な電子情報に変換する。

問 市職員の業務や市民サービスは、どのように変化するのか。

答 市道の認定・廃止等を、パソコン上で修正できるなど業務の効率化が図られる。また、市民の方は、パソコンの画面上で閲覧可能になるので、将来的には、インターネット上での閲覧も可能にしたい。



新幹線の工事風景

新幹線関連工事の排水対策は？

説明 吉谷町で新幹線関連工事が進んでいるが、大雨時には冠水することもあるこの地域に、さらに工事排水が増えることで、氾濫が心配される。これへの対策のための測量、設計を行う。

問 鞍谷川が増水した際に、排水路の弁が閉じ、地域内の水が排出されなくなることも考えられるようだが、その対応は。

答 氾濫の原因となり得るのは、鞍谷川への排水路の他、県道や地域内の排水路の能力不足なども考えられる。地元への冠水時の状況の聞き取りや、詳細な地盤高や水路の状況を把握し、原因の特定と、その対策について検討していきたい。

請願の審査内容

・不正資金還流の真相究明を求める請願

少数意見 原子力発電の関連施設が立地した裏で、不正に資金がやりとりされていたことは、大きな問題。市議会としても、全容解明を申し入れるべき。

多数意見 法の裁きに委ねられるべきであり、一民間企業に対し、市議会が申し入れをすべきことではない。また、関西電力は第三者委員会を設置し、全容を解明しようとしているところであり、その調査に委ねるべき。しかし、請願の趣旨には賛同する。

採決

趣旨採択

教育民生委員会の審査内容

早稲田保育所はどうなる？

説明 子育て支援の拠点施設として改修する実施設計。1階は子育て支援センターとして、2階は児童発達支援センターとして整備。

問 早稲田保育所に子育て支援センターを整備することになった経緯は。

答 現在の子育て支援センターでは、子供の遊び場や利用者の居場所が狭いことから、早稲田保育所の有効活用を図る。保護者同士の交流や子育て相談、一時預かり事業などの充実を図り支援していきたい。

道幅せまいが、混雑は？

問 新しい子育て支援センターへの道は狭いので、子供を乗せた保護者が来るには、困難なのではないか。混雑は想定しているのか。

答 早稲田保育所へ車で送迎をする際、混雑を緩和するために利用者の方に東から入り西へ走行するようお願いしている。今後、保育所の送迎ほどは集中しないと考えているが、走行について継続してお願いをし、混雑時の緩和を図るとともに安心して利用できるよう十分配慮を行っていく。



POS(ポス)レジの様子

公民館では
スマートフォン決裁も
できます。

POS(ポス)レジの職員研修は？

問 市の担当部署の職員もポスレジ研修を受けるべきだと考えるが、予定はあるのか。

答 公民館については、職員への研修を進めているが、生涯学習・スポーツ課でも1台デモ機を用意しており、同課の担当者が十分に習熟したうえで、各施設の操作担当者に伝えていきたい。

現金取扱いへの対応は？

問 公民館の職員や夜間管理人が現金を扱うようになることから、現金の取扱いに関しての指導を改めて行ってほしい。対応は。

答 取扱いに間違いのないように、各公民館備え付けの公金等取扱いマニュアルの手直しや、機器の操作手順の十分な習得、現金の保管について、徹底していきたい。

請願の審査内容

・生活保護基準引き下げ中止を求める請願

少数意見 都市部では、引き下げによる影響を受ける方もあると考えられるため、この請願の趣旨に賛同できる。

多数意見 鯖江市の状況に当てはめた場合、高齢者単身世帯は、若干減額となるものの、一般世帯、母子世帯、高齢者夫婦世帯は増額となるため、一概に減額が大きい状況とは言えず、生活保護の基準をむやみに引き下げているとも言えない。

採決

不採択



市政同志会 帰山 明朗 議員

牧野市長の今、鯖江市政4期16年を振り返っての所見は

答市長 就任以来、常に現場百遍を念頭に市民の声に耳を傾け、市民主役の土壌づくりに取り組んだ。市民生活の安全安心確保に重点的に施策を反映し、子や孫に負担をつけ回さない自治体経営、人口の増加等に向けてシティプロモーションに取り組んだ。

具体的には、治水対策では河川改修、雨水幹線や砂防堰堤の整備、田んぼダムなど総合的に取り組み、一方で行財政構造改革アクションプログラムを策定し、人員配置適正化、起債の繰上償還に努めた他、指定管理者制度導入、下水道事業計画の見直し。市民公募債発行。ふるさと納税の充実、国の地方創生交付金の活用など財政健全化に取り組んだ。

また、「めがねのまちさばえ」を前面に押し出し、鯖江のイメージは全国的にも広まってきた。今後はこれをどのようにストーリー化するかが大きな課題。財政指標も堅持しているが、今後の社会保障の伸

びや国土強靱化の取組など、まだまだ課題は積み残されている。国の予算の大幅な伸びも望めない中、自治体がどこまで蓄えておくか大きな課題。こうした中で持続可能で100年後にも鯖江が残るよう取り組みたい。

来年度の教育行政での重点事項は

答教育長 来年度は小学校で新学習指導要領が完全実施になる。その円滑移行が大切な時期。英語の教科化やプログラミング学習実施に向け前倒しで取り組んできたが、新年度に向け教員負担軽減に必要な学習環境整備を図ることが大切。また教員の多忙化解消も重要課題。特に中学校教員の超過勤務時間が部活動や生徒指導の関係で長時間になっている。本市でも県の策定した業務改善計画に基づき市業務改善基本方針を策定し取組を始めたところ。今後、学校と教育委員会が連携し先生の子供と向き合う時間確保や健康増進の点から進めたい。教育委員会と学校教育・社会教育・社会体育等の現場との連携を密に現状や課題をしっかりと把握し、情報共有化を図り、各分野の教育振興に努めることが重要。



市民創世会 丹尾 廣樹 議員

防災対策の課題と対応

問 大型台風15号、19号の教訓から避難方法等安全の確保を今後の防災対策にどう活かすのか。

答 今回、車での移動中に流されたケースや浸水により住宅内で被災したケースがあり、避難や移動の判断の難しさが浮き彫りになった。市としては、早めに適正な避難行動を判断できるよう、正確な情報の発信に努め、自らも防災に対する意識と知識を持ってもらうよう、更なる啓発を図っていききたい。

意見 洪水に関し、次の2点が、本市に見える行政課題。1つは、日野川の天王川、浅水川との合流域、福井市清水山橋が本市にとって下流域で最も狭隘な箇所。ここの拡幅等、洪水の危険度を下げる河川改修工事の早期の事業化を図るべき。また2つ目は、被災者支援のあり方、特に浸水被害支援の現行制度拡充に力を注ぐべきと考える。

女性が輝く社会の構築について

問 女性活躍に関し、鯖江には女性が活躍しやすい土壌があるとの認識のもと、積極的に推進していく姿勢が見える。昨年5月の国連での市長演説からわずか1年半。しかも同年6月にSDGs推進の職員研修会を急遽行い、支える職員も日が浅く、市民への広がりも今期待できない状態で、ついていけない。「女性が輝く社会の構築」をどこまでやるのか。

答市長 時間的にはまだまだ必要に思うが、世界に発信できるよう土壌を整備して、世界の女性、あるいはまた日本の女性、ひいては鯖江の女性の地域での活躍等、SDGsに対する取組を国際発信できたらいいと思う。大きな目標に向けて小さなまちから大きな発信を高い志のもとでやっていく。

その他の質問

- 第2期総合戦略の課題と対応
- 公共施設等総合管理計画について
- 大学連携等について
- 職員管理について
 - ①公務員の倫理観
 - ②事業過多により職員の多忙

代表質問



清風会
林 太樹 議員

SDGsジェンダー平等の推進について

問 2030年に向けた国際社会が目指すジェンダー平等の鯖江型ロールモデル構想とは。

答市長 SDGsは今後10年間のロードマップで進めていく。ジェンダー平等は日本では遅れているので、自主的選択的な取組で、SDGsNo.5のジェンダーフリーと女性のエンパワーメントを国内・世界に鯖江のロールモデルを発信したい。国連とのパートナーシップによるプロジェクト実現のための拠点として「女性資料館」の設置や国際的女性会議の誘致などに取り組んで行く。

公共交通の整備について

問 新幹線敦賀開業における国の特急存続に不可欠な接続線整備の見解は。

答市長 敦賀駅特急乗入口から並行在来線への接続線整備には、支障物件の撤去や建設費での課題がある。未だ国やJRからは事業費の提示はなく、議論も

行われていない。23年春の開業時には接続線の実現は困難で、開業後も極めて難しいと受け止めている。

問 利便性確保のため特急存続代替案の新快速列車運行実現の運動展開は。

答市長 速達性のある新快速の運行は、代替案の一つと考えている。特急存続は難しい状況だが、「しらすぎ」は市民団体の要望運動が続いており、「サンダーバード」はFGTを断念した国の責任で存続措置をオール福井の取組として、県から国・JRとの交渉をいただいているとのことなので、代替措置を引き出すために本市としてはあくまでも特急存続の声を強く上げ続けるべきと考えている。

国民健康保険税率見直しについて

問 新国保制度での県下保険料統一に基づいた今後の税率改正の進め方は。

答 2018年度から県が保険者となり財政運営の責任主体を担うことになった。県は保険料水準の将来的な県下統一を謳っている。保険料算定は資産割を廃止した4方式から3方式への段階的移行を進めていきたい。今後の税率改正は、国の社会保障政策や県内市町の対応も考慮しながら、被保険者の給付と負担のバランスがとれた適正なものになるよう国保基金の活用を含め、市国保運営協議会に諮り、国保会計の健全な運営を進めたい。



一般質問とは…

市のさまざまな課題等について、議員が市長や理事者に考えを聞くものです。

議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。



10人が
登壇
しました！

ここが
聞きたい！

第422回
12月定例会
一般
質問



清風会
林下 豊彦 議員

市民タクシーについて

問 タクシーの配車サービスが行き届かなくなっている河和田地区で導入を考えている有償ボランティアによる市民タクシーとはどのようなものか。

早稲田保育所の活用について

問 早稲田保育所の利用について、新子育て支援センターとして活用し、より多くの親子が気軽に集えるように全天候型の遊技場を整備し、発達の気がかかりなお子さんにも対応できる児童発達支援センターの機能も設けるとあるがどのように整備する計画か。

眼鏡産業活性化について

問 眼鏡産業活性化についてどのような支援を行い、その結果はどのようなになっているか。

意見 私の行ったアンケート結果から、めがねのまち鯖江の知名度は上がっているが、眼鏡産業従事者の仕事に対する誇りや将来に対する不安があるように思う。市民に向けた支援も必要ではないか。





市民創世会
石川 修 議員

鯖江市の経済について

- ① 現況について
- ② 消費税増税対策の効果と課題
 - ・プレミアム商品券について
 - ・キャッシュレスについて
- ③ 今後の懸念について
 - ・R2年の厳しい状況の所見
- ④ 産業振興について
 - ・産学官金連携について
 - ・新幹線開業効果について
 - ・公共工事の前倒しについて



※詳しくは鯖江市議会のホームページで動画にてご覧いただけます。



公明党
奥村 義則 議員

食品ロス対策について

問 食品ロスは世界的な問題で温室効果ガス排出量の約8%を発生させているとの指摘もある。そして、気候変動とも密接な関係があり、国民あげて取り組むべき課題だ。一方、食品ロス削減推進に関する基本方針が今年度内に閣議決定とのことだが、基本方針を踏まえ、消費者、事業者に対する教育・学習の振興、知識の普及・啓発等、実効性の期待が持てる推進計画の策定を望むが。

答 県が政府の基本方針を踏まえ、来年度以降に推進計画の検討を進めるとのことであり、本市としても国の基本方針と県の推進計画を踏まえ、独自の取組も加えた「食品ロス削減推進計画」の策定を進めていく必要があると考える。そして、食品ロス削減や生ごみの資源化などの活動をされている市民団体からのご意見や、ごみ問題懇話会で、ご審議いただきながら「食品ロス削減推進計画」を策定していきたい。

その他の質問

○防災対策（令和元年の台風15号と台風19号から見た課題について）



市政同志会
江端 一高 議員

大型屋内遊戯場の整備が必要

問 子ども・子育て支援として大型屋内遊戯場の整備が必要と考えるが。

答 大型の屋内施設がまだ不足しているというのは重々承知しているので、限られた財源の中で既存の公共施設等を中心に検討していきたいと考えている。

小中学校のICT教育に情報モラル教育が必要

問 小中学校のICT教育において情報モラル教育が大切になると考えるが。

答 「ネット社会で暮らすための安全教室」という冊子を活用し4年生から6年生で情報モラル教育に取り組んでいる。今後、冊子

の改訂も進めていきたいと考えている。

その他の質問

○鳥獣害対策として捕獲対策も必要。

○公共施設等の水銀ランプはLED灯への省電力対策が必要。





市民創世会
大門 嘉和
議員

治水対策について

問 福井豪雨の被害状況と教訓は。

答 死者1人、負傷者13人、家屋は全壊4棟、半壊44棟、一部損壊80棟、床上浸水352棟、床下浸水629棟。被害総額約112億円という甚大な被害を受けた。その教訓から、防災行政無線の整備、防災緊急情報メール配信サービスの提供や、ボランティアセンター立ち上げ訓練や避難所開設訓練など、被災地での受け入れ体制の迅速化と強化、防災リーダーや防災士の養成などを実施した。

問 福井豪雨後の河川改修の進捗状況は。

答 浅水川は平成26年度に日野川合流点から穴田川合流点までの区間の河川改修が完了した。鞍谷川は平成28年度に服部川合流点までの区間について完了した。河和田川は、鞍谷川合流点から落井町までの区間は整備済み。天神川合流点までの区間は毎年、県への重要要望事項として河川改修を要望し、事業化に向け地元協議に着手した。

その他の質問

○来年度予算編成方針など。



公明党
遠藤 隆
議員

関係人口の獲得について

問 人のシェアリング政策について。

答 総合戦略にさばえファン獲得を視点とした基本政策を追記。県外に在住する人材や企業の活用を図り、シティプロモーション事業や学生連携事業、ふるさと納税の活用を推進し、関係人口を獲得し、定住人口につなげていく。また、基本政策に既存産業の高度化に有識者や必要な人材の企業間シェアを視点として加えるとともに、本市は中小零細企業が多く占めていることから、必要な市内外の人材をシェアすることで、各事業者の負担軽減につながるよう検討し

ていく。また、ICTの活用により、リモートワーク、テレワーク、モバイルワークのほか、サテライトオフィスなど多様な働き方が誕生し現在5社、43名が従事していただいている。これらの事業者は、地方の人材を求めてオフィスを開設し、地元雇用者が地方にしながら、都市部の仕事を行う形式をとっているが、都市部と本市を行き来しながら、人のシェアリングにつながる事業者も含め、多様な働き方を行うオフィスも視野に入れ、誘致を今後も推進していく。



市民創世会
山本 敏雄
議員

保育行政の現状と課題

問 ゼロ～2歳児の待機児童の入所受入れの対策は。

答 3歳児以上の定員をゼロ歳児から2歳児の定員へと振り分けることができる認定こども園化を推進。それによって定員を60名ほど増加する予定である。

意見 保育士の確保が難しい中、本市の特徴を見すえて、現実の処遇改善に引き続き全力で取り組んでほしい。

高齢者の介護問題の対策は

問 在宅介護世帯(老老介護・認知介護)の現状と課題から市の取組は。

答 月平均の介護の居宅サービス受給者数は2,098人で要介護認定者数の7割を占めている。地域包括支援センター、サブセンターを設置。家族の相談や問題などに迅速に対応できる体制をとっている。高齢者が増加する2025年を見据えて地域包括センターの体制強化を図り、専門職員の増員を検討している。

意見 専門職員増と、地域連携の強化を図ることを要望する。



日本共産党
菅原 義信 議員

想定外といわれる災害に対して

問 最近の自然災害はいずれも想定外だと言われるが、昨今の災害や過去の経験で得た知見を細大漏らさず教訓とすべき。その点で鯖江市が進めている「田んぼダム」は整備を拡大することと有効性を高めていく必要がある。また、排水路の整備が進んで圃場排水の河川への流下が早まり、今まで通りの排水ポンプの稼働では間に合わなくなっているところは運転マニュアルを見直すべき。大きくは日野川の河床しゅんせつを急ぐことと広野ダム、梶谷ダムの事前放流による貯水量拡大を図ることも県に要請すべき。

答 ことしの調査によれば整備された田んぼダムで6割の調整板が封入されている。ポンプ場の管理マニュアルは検討する。日野川については、河川の断面確保のため、現在、50年に1度の水害に耐えうる改修を行っているが、将来計画として100年に1度の水害に耐えうる整備を予定している。浅水川・鞍谷川については、河床を掘り下げ、将来的には50年規模での接続が可能となる。ダムの調整容量の変更は国が九頭竜川水系で行うことになっているが、これを参考に県も検討していくことと聞いている。



市政同志会
佐々木 一弥 議員

持続可能な財政運営について

問 市債残高について

- ① 残高の推移は
- ② 元氣さばえっ子・ゆめみらい債の発行について

問 自主財源確保について

- ① 推移について
- ② 拡大に向けての今後の取組は

問 Society (ソサエティ) 5.0の実現とは

獣害対策について

問 対策強化について

- ① 市内の獣害対策への取組状況は
- ② さばえのけものアカデミーの受講現状は
- ③ 受講による対策効果は

問 クマ対策強化について

- ① クマ出現時の行政の対応は
- ② 住民への啓発は
- ③ 市が管理する公園管理について



市民創世会
木村 愛子 議員

「国連SDGs女性資料館」とは

問 誘致の見通しは。

答市長 SDGsの鯖江コンセプトモデル、グローバルという商標登録をしているが、片方のレンズで世界を、片方のレンズで地域で考え行動する。ブリッジが女性のエンパワーメントになっている。

これらの評価も受け、国連の友APと共同で、女性資料館設立と国際会議の開催の提言を受け、動き出している。

問 産業観光や丹南広域の連携について、「RENEW」の市の考えは。

答 「RENEW」をきっかけに、参加企業間の新たなネットワークも生まれ、メーカー自らも売れるものを作って売る動きも活発

化、工房の見える化やショップ併設が始まっている。市として側面支援をして、民間力で通年型の産業観光の実現と産地の強みを生かした雇用の創出も目指したい。

インバウンドの需要にも対応できるよう5市町のネットワークを強化したい。

その他の質問

○強靱かつ環境に優しいまちづくり。

○児童発達支援センターについて。



議案と結果・賛否

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
【8月28日提出・11月27日議決(9月定例会後の継続審査)】			
議案第47号	平成30年度鯖江市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多)
議案第48号	平成30年度鯖江市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多)
議案第49号	平成30年度鯖江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多)
議案第50号	平成30年度鯖江市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多)
議案第51号	平成30年度鯖江市総合開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定
議案第52号	平成30年度鯖江市水道事業会計決算の認定について	決算特別	認定
議案第53号	平成30年度鯖江市公共下水道事業会計決算の認定について	決算特別	認定
議案第54号	平成30年鯖江市農業集落排水事業会計決算の認定について	決算特別	認定
【11月27日提出・12月20日議決】			
議案第61号	令和元年度鯖江市一般会計補正予算(第4号)	総務・産建・教民	可決
議案第62号	令和元年度鯖江市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	教育民生	可決
議案第63号	令和元年度鯖江市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	教育民生	可決
議案第64号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備について	総務	可決
議案第65号	公共施設の使用料改定に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	総務	可決
議案第66号	公共施設の使用料改定に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	教育民生	可決(多)
議案第67号	鯖江市長等の給与および旅費等に関する条例および鯖江市議会の議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について	総務	可決
議案第68号	鯖江市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総務	可決
議案第69号	鯖江市認定こども園設置および管理に関する条例等の一部改正について	教育民生	可決
議案第70号	鯖江市農林業体験実習館設置および管理に関する条例の一部改正について	産業建設	可決
議案第71号	鯖江市水道事業給水条例の一部改正について	産業建設	可決
議案第72号	夢みらい館・さばえにおける指定管理者の指定について	総務	可決
議案第73号	鯖江市スポーツ施設等における指定管理者の指定について	教育民生	可決
議案第74号	鯖江市立待体育館における指定管理者の指定について	教育民生	可決
議案第75号	市道路線の認定および廃止について	産業建設	可決
請願第3号	国に対し「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願	総務	不採択(多)
請願第4号	生活保護基準引き下げ中止を求める請願	教育民生	不採択(多)
請願第5号	老朽原発稼働に関する請願	総務	継続審査(多)
請願第6号	不正資金還流の真相究明を求める請願	産業建設	趣旨採択(多)
【12月20日提出・同日議決】			
議案第76号	鯖江市教育委員会委員の任命について	—	同意
議案第77号	鯖江市公平委員会委員の選任について	—	同意

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。(賛成：賛、反対：否、欠席：欠)

	林 下 豊 彦	江 端 一 高	大 門 嘉 和	空 美 英	山 本 敏 雄	佐 々 木 一 弥	福 原 敏 弘	帰 山 明 朗	佐 々 木 勝 久	奥 村 義 則	石 川 修	林 太 樹	遠 藤 隆	木 村 愛 子	平 岡 忠 昭	丹 尾 廣 樹	末 本 幸 夫	水 津 達 夫	玉 邑 哲 雄	菅 原 義 信	議員名 (議席番号順) 議案
--	------------------	------------------	------------------	-------------	------------------	-----------------------	------------------	------------------	-----------------------	------------------	-------------	-------------	-------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	--------------------------

【8月28日提出・11月27日議決(9月定例会後の継続審査)】

	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	否	議案第47号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	否	議案第48号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	否	議案第49号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	否	議案第50号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第51号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第52号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第53号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第54号

【11月27日提出・12月20日議決】

	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第61号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第62号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第63号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第64号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第65号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第66号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第67号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第68号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第69号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第70号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第71号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第72号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第73号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第74号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第75号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	否	請願第3号
	賛	賛	否	賛	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	否	請願第4号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	否	請願第5号
	賛	賛	否	賛	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	否	請願第6号

【12月20日提出・同日議決】

	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第76号
	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	議案第77号

※水津議長は採決に加わっていません。

表紙写真の選考について

表紙写真に多数の応募をいただき、ありがとうございます。
選考委員会による厳正な審査の結果、2月号の表紙は大平さんの写真に決定いたしました。応募があった作品の中から、一部をご紹介します。

※次号(5月25日号)の応募締切は5月7日(木)です。



幸町2丁目 高橋 豊子 さん



平井町 小島 史郎 さん



丹南高校 永田 司 さん



丹南高校 大平 遥加 さん

《第423回 3月定例会日程(予定)》

市 議 会 の 日 程			CATV放送予定
2月17日(月)	10時	本会議 (提案理由説明、議案先議、委員長報告、採決)	生放送
20日(木)	休会		再放送 18時～(2/17本会議分)
3月 2日(月)	10時	本会議 (質疑、一般質問)	生放送
3日(火)	10時	本会議 (一般質問)	生放送
4日(水)	10時	本会議 (一般質問)	生放送
5日(木)	9時30分	常任委員会	—
6日(金)	9時30分	常任委員会	—
9日(月)	9時30分	常任委員会	—
10日(火)	10時	総合交通ネットワーク構築・まちづくり推進特別委員会	—
	13時30分	議会等改革推進特別委員会	—
11日(水)	休会		再放送 18時～(3/2本会議分)
12日(木)	休会		再放送 18時～(3/3本会議分)
13日(金)	10時	本会議 (委員長報告、採決)	生放送、再放送 18時～(3/4本会議分)
16日(月)			再放送 18時～(3/13本会議分)

※ 進行状況により時間の変更が生じる場合があります。

※ 委員会のCATV放送はありません。

編 集 後 記

令和となり初めての新年は、雪の無いお正月となりました。過ごしやすい毎日に少し安堵している反面、異常な気候の“変化”に驚きを感じます。

今回の鯖江市議会報表紙写真には沢山の応募がございました。一般の方に加えて、市内高校の写真部の生徒さん達が写真を送って下さったのです。議会報を作る私たちには大変嬉しい“変化”です。大袈裟ですが明るい希望です。私たちの仕事は、市民の皆様が希望が持てる“変化”を生み出し続けることです。この鯖江市議会報を通じてそれをお伝えしていきます。

広報委員会 副委員長 林下 豊彦

発行：鯖江市議会 ☎ 53-2249

E-Mail SC-Gikai@city.sabae.lg.jp

編集：広報委員会

委員長	遠 藤	隆
副委員長	林 下	豊彦
委員	石 川	修
委員	佐々木	一弥
委員	空	美英
委員	江 端	一高